

令和4年度事業報告

社会福祉法人広島県肢体障害者連合会

【 法 人 】

令和4年度は前年度から引き続き、新型コロナウイルス対策等に翻弄された感が強い年度でしたが、長年の懸案事項であった外壁の修繕について、8月22日～11月30日の期間で実施することが出来ました。

これにより、特定建築物の定期検査で是正の指摘を受けていた外壁コンクリートひび割れ・鉄筋爆裂（一部剥落の恐れ）が解決いたしました。

詳細については下記の通りです。

「外壁・外装・防水改修工事」（正面箱文字・トップライト交換含む）

・設計依頼 空間設計事務所

設計業務報酬 1,100,000 円（消費税込み）

支払 7月29日 550,000 円

12月5日 550,000 円

合 計① 1,100,000 円

・指名競争入札 令和4年7月13日 11:00～ 当法人会議室にて

・入札参加業者（50音順） 株式会社カネキ

株式会社長崎塗装店

（落札業者）宮本塗装工業株式会社

落札額 25,850,000 円（消費税込み）

工 期 令和4年8月22日～11月30日

支 払 9月5日 2,500,000 円

10月28日 13,350,000 円

12月5日 11,500,000 円（内追加分 1,500,000 円）

合 計② 27,350,000 円

総額（①+②）28,450,000 円

・借 入 独立行政法人 福祉医療機構

借入額 **22,100,000 円**

償還期間 15年間

・自己資金 **6,350,000 円**

【役員会等開催状況】

【監事監査】

日時：令和4年5月27日（金）10：30～

会場：法人内会議室

出席者：監事 下津江 博 添田龍彦
理事 会長理事小田龍雄 小谷貴弘 木村英雄
事務局 丸川美智子 丸子伸二

【理事会】

令和4年度第1回理事会

日時：令和4年6月8日（水曜日） 10：30～12：10

場所：法人内「会議室」

出席者：理事 総数 6名

出席理事 5名（会長理事を含む。）

理事長 小田龍雄

常務理事 小谷貴弘

理事 中道佳子 中司 力

木村英雄

（欠席理事 松本正則）

監事 総数 2名

出席監事 2名 添田龍彦 下津江 博

事務局2名 丸川美智子 丸子伸二

アドバイザー1名 大下真希（株式会社 シーエムエス）

議長兼議事録作成者 会長理事 小田龍雄

第1号議案 令和3年度の事業報告（案）及び計算書類並びに
これらの附属明細書及び財産目録（案）の承認の件

第2号議案 社会福祉充実計画（案）の承認の件

第3号議案 評議員会招集の件

第4号議案 パート就業規則変更（案）の件

第5号議案 外壁等補修について

報告事項

理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

理事会決議の省略に係る意義の確認について（書面決議）

発送日：令和4年6月28日

提案事項：第1号議案 セルプ宇品外装・外壁・防水改修工事指名業者選定について
第2号議案 セルプ宇品外装・外壁・防水改修工事における支払いについて
第3号議案 借入先、借入申込金額及び償還期間

同意書回答：理事 小田龍雄 小谷貴弘 中道佳子 中司 力 木村英雄

監事 下津江 博 添田龍彦

令和4年度第2回理事会

日時：令和5年3月30日（木曜日） 10：30～11：50

場所：当法人会議室

出席者：理事 総数 6名

出席理事 5名（会長理事を含む。）

理事長 小田龍雄

常務理事 小谷貴弘

理事 中道佳子 中司 力 木村英雄

（欠席理事 松本正則）

監事 総数 2名

出席監事 2名 添田龍彦 下津江 博

事務局（法人書記）1名 丸川美智子

アドバイザー1名 大下真希（株式会社 シーエムエス）

議長兼議事録作成者 会長理事 小田龍雄

第1号議案 令和4年度補正予算(案)について

法人・障害者支援施設セルプ宇品

第2号議案 令和5年度事業計画(案)について

法人・障害者支援施設セルプ宇品

第3号議案 令和5年度収支予算(案)について

法人・障害者支援施設セルプ宇品

報告事項

職務執行状況報告

令和4年度指導監査（書面）報告

令和4年度定時評議員会

日 時：令和4年6月27日（月）10：30～12：00

場 所：法人内会議室

出席者：評議員総数7名

評議員 佐藤勝美 上村昭子 真倉初恵 堀江忠義

塩崎陸典 大江武芳 山内嘉代子

理 事 小田龍雄 小谷貴弘 木村英雄

監 事 下津江 博 添田龍彦

事務局 丸川美智子 丸子伸二

アドバイザー 大下真希（原田会計事務所）

議 題

報告事項1 令和3年度事業報告

第1号議案 令和3年度計算書類・財産目録の承認について

報告事項2 社会福祉充実計画作成の有無について

【関連行事等（他団体関連含む）】

月 日	内 容	場所等	参加者
令和4年4月1日	辞令交付	法人内会議室	職員
4月18日	広島県身体障害者団体連合会臨時理事会	県聴覚障害者センター	会長
4月25日	広島県身体障害者施設協議会役員会	県社会福祉会館	小谷
5月10日	広島県身体障害者団体連合会総会	県健康福祉センター	会長
5月12日	ふれあいコンサート運営委員会	県社会福祉会館	小谷
5月17日	広島県就労振興センター広報部会	東広島市	小谷
5月25日	広島県身体障害者施設協議会総会	県社会福祉会館	小谷
5月26日	県障害者陸上競技大会実行委員会	県民文化センター	会長
6月7日	広島県社会福祉法人経営協総会	TKP ガーデンシティ広島	会長
6月11日	ふれあいコンサート実行委員会	県社会福祉会館	小谷
6月15日	広島県身体障害者団体連合会臨時役員会	県社会福祉会館	会長
6月20日	広島県身体障害者団体連合会正副会長会議	県聴覚障害者センター	会長
7月11日	あいサポートコンサート実行委員会	県社会福祉会館	小谷
7月15日	広島県身体障害者施設協議会研修部会	Web会議	小谷
7月27日	広島県高次脳機能障害連絡協議会	Web会議	小谷
8月26日	広島県身体障害者団体連合会正副会長会議 広島県身体障害者相談員研修会	広島県健康福祉センター	会長
8月26日	ふれあいコンサート打合せ	東広島市	小谷
9月2日	広島県身体障害者団体連合会理事会	広島県健康福祉センター	会長
9月11日	ふれあいコンサート	東広島市	小谷
9月13日	広島県身体障害者施設協議会研修部会	Web	小谷

9月15日	県自立支援協議会	Web	会長
10月4日	広島県身体障害者相談員研修	県聴覚障害者センター	会長
10月25日	就労継続支援A型事業所の指定に係る専門家会議	Web	小谷
11月4日	県障害者差別解消支援地域協議会	Web	小谷
11月6日	あいサポートアート展スタッフ及び撤去	県立美術館	小谷
11月30日	広島県身体障害者施設協議会役員会	県福祉会館	小谷
12月16日	すべての障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議	Web	小谷
令和5年1月24日	広島県身体障害者団体連合会正副会長会議	県聴覚障害者センター	会長
2月3日	広島県身体障害者団体連合会役員会	県聴覚障害者センター	会長
3月8日	広島県身体障害者施設協議会総会及び勉強会	県社会福祉会館	小谷
3月16日	県社会福祉法人経営者協議会総会・研修会	TKP ガーデンシティ広島	会長
3月22日	広島県身体障害者団体連合会理事会及び総会	県聴覚障害者センター	会長 小谷
3月31日	県自立支援協議会	Web	会長

令和4年度心身障害者(児)福祉推進啓発事業報告

事業計画				
区分	目的	実施年月日	開催場所	参加人員等
広報活動事業	広報紙の発行により社会福祉法人広島県肢体障害者連合会の活動状況を関係団体及び関係機関に広報する。	4回発行 200部	—	1回 200部
幹部研修 職員研修 事業	各役員の資質の向上を図り、連合会組織を充実させる。 職員研修資料「障害のある人々の福祉」	4年5月 5年3月 施設職員	法人会議室	10名 9名 12名

【役員名簿】

(任期：令和3年6月～選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結時まで)

令和5年4月1日現在

役職	氏名
会長理事	小田龍雄
常務理事	小谷貴弘
理事	松本正則
理事	中道佳子
理事	中司 力
理事	木村英雄
監事	添田龍彦
監事	下津江 博

【評 議 員 名 簿】

(任期：令和3年6月～4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会終結時まで)

令和5年4月1日現在

氏 名
佐藤勝美
上村昭子
真倉初恵
塩崎睦典
堀江忠義
大江武芳
山内嘉代子

【評議員選任・解任委員名簿】

(任期：令和2年6月11日～4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会終結時まで)

令和5年4月1日現在

氏 名
添田龍彦
下津江 博
尾山恵子
丸川美智子

令和4年度事業報告 障害者支援施設セルプ宇品

新型コロナウイルスが2020年の1月に国内で初めて感染が確認されてから、当施設でも新型コロナウイルス対策等に翻弄されてきました。今までの日々の業務に加えて、全員の朝夕の検温、全館除菌、体調不良者への速やかな対応、外出の制限等、職員、利用者一丸となって色々な対策を講じて感染者を出さずに過ごしてこられました。

その間職員家族、利用者家族からの発生がありましたが、施設内での感染者は0で3年間過ごすことが出来たので、安心していました。

しかし、ついに令和5年1月に利用者4名、3月に職員1名感染者が出てしまいました。これは利用者が病院受診時に感染して持ち帰った可能性が強く、職員は子どもが保育園で感染したことが原因でした。

ただ、感染者の多目的室（旧印刷工場）への早急な隔離対応や、抗原検査の実施により、それ以上の感染拡大には至りませんでしたし、罹患された方も基礎疾患をお持ちの利用者が多く、無事回復されたことが不幸中の幸いでありました。

ほとんどの方がワクチン接種に積極的であったことも良かったのだろう感じました。

B型の作業については、コロナの影響で全く無くなったものや、受注量が極端に減ったところもありますが、新たな事業所から新しい作業を頂け、工賃の水準を落とすことなく推移出来ていることに感謝しております。

令和4年度統合科事業報告 担当：美川支援員・木村操弥支援員

B型のみ	第1期			第2期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R4年度B型	¥126,171	¥106,964	¥151,860	¥115,386	¥119,234	¥113,941
対象者人数	16	16	16	16	16	16
平均工賃	¥7,886	¥6,685	¥9,491	¥7,212	¥7,452	¥7,121

R5年目標工賃	¥126,200	¥107,000	¥152,000	¥115,400	¥120,000	¥114,000
対象者人数	15	15	15	15	15	15
平均工賃	¥8,413	¥7,133	¥10,133	¥7,693	¥8,000	¥7,600

B型のみ	第3期			第4期			合計	月平均
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
R4年度B型	¥172,139	¥191,102	¥172,700	¥172,423	¥131,326	¥136,283	¥1,709,529	¥142,461
対象者人数	16	16	16	16	16	15	191人	16人
平均工賃	¥10,759	¥11,944	¥10,794	¥10,776	¥8,208	¥9,086	¥107,413	¥8,951

【令和4年度総括】

【作業・工賃に関する事、反省】

- ・作業としては東光・巣守金属の作業が継続して頂け、工賃を上げることができた。しかし、エッセンス・大和の作業は減りつつあり、R4年度は東光がメインであった。
- ・R4年度もオレンジリボンの作業を頂け、単価も上げて頂き、数量もR3年度に比べると多くいただけたのも工賃アップにつながった。
- ・R4年度の主な業者(大和・コージ・巣守・府中・児玉・パド・ほり・広洋・パレフローラ・パコ・エッセンス・東光・サンコー・松田・ブックオフ・大下・オレンジリボン)
- ・羽に関してはR4年度は作業を頂けていない。
- ・R3年度統合科全体(B型+生介)の工賃 ¥1,991,899・R4年度統合科全体(B型+生介)の工賃 ¥2,028,603

【利用者に関する事項】

- ・利用者の変化として、高齢になってきておりADLの低下がみられる方が増えた。
- ・個別支援計画が遅れてしまう事があった。
- ・橋本さんが入所され、山村さんが退所となった。
- ・野田さん、掃除部の作業時間が減り統合科で作業する時間が増えた。

令和4年度軽作業科事業報告 担当：松江支援員・澄川支援員（R4.10月中旬育休から復帰）・吉藤支援員・津田支援員<派遣社員 R4.10月まで>

（作業について）

R4年度工賃支払総額は前年より394,240円アップ出来た。

- ・サンパック：前年度は1万円を切っていた月もあったが4年度は全ての月で1万円を超えることができた。業者と密に連絡を取り合い短い納期でも積極的にかつ効率的に行えた。不良が出てしまう事があったため不良と良品の確認をしていただくよう利用者さんに日々指導した。
- ・セーラー：平均5万円台で推移した。ボールペンの検品、シール貼り、箱詰めを職員部分と利用者さんが行う部分を分担し効率よくすすめることができた。
- ・東光：令和4年度本格的に始動した。箱を折る方、箱を組み立てる方、箱の身と蓋を組み合わせる方と作業分担を行い納期に間に合うように行っていき工賃アップに繋がった。

（ご利用者の方について）

- ・加齢や疾病によるADL低下や入退院される方もいた。作業のスピード低下も見受けられる。
- ・コロナ渦において、除菌や作業場に入る時のアルコール消毒、換気の徹底を行った。コロナ陽性者発生し作業が中断することがあった。
- ・転倒などが起きないよう環境整備、移乗時の見守りを行った。
- ・日々の体調チェックを通じ体調不良を早期に発見し、医務、他職員との連携を迅速に行うことで作業欠席が少なくなるよう目配りをした。

令和4年度掃除部事業報告 担当：松江

R4年4月から5月までは部員2人だったが、6月からNさんの年齢による体力低下により部員一人増員になり3人となった。OさんにNさんの掃除場所を1か所ずつ体験してもらい、R5.3月で全掃除場所の体験を終了し本格的に3人体制で始動した。

3人とも作業の時間配分、自分のペースを考えながらお互いフォローしあえるところは助け合いながら頑張って作業をされた。

※清掃場所：施設内の掃除：廊下・風呂場・トイレ・ゴミ捨て場・洗濯場・花壇など

令和4年度木工科事業報告 担当：正木支援員

令和4年度授産収入売上目標	¥2,300,000
令和4年度授産収入売上	¥2,314,051
目標達成率	100.61%
支払い工賃目標額	¥1,180,000
令和4年度支払工賃総額	¥1,269,751
目標達成率	107.61%

令和4年度支払い工賃目標額 1,180,000 円に対して支払い工賃総額 1,269,751 円。目標達成率は107%であった。達成要因として、主な収入源である広島市100歳記念時計の製作数の増が大きい。新規委託先（佐伯運動公園）への納品がスタートしたこと、新規業者の一場木工所への納品、昨年コロナウイルスの影響で中止となったイベントに参加できたこともあげられる。例年3月～9月に広島市100歳記念時計製作、10月～2月に新商品製作を主にしていたが、今年度は近年のコロナウイルスによるイベント自粛などにより対面販売の難しい状況が続いていることを加味して、11月頃からインターネット販売の準備を行ってきた（SNS情報発信、ポスター製作）次年度スタートできる見込みである。

【既存の委託先・取引業者】

- ・広島市高齢福祉課⇒100歳記念時計製作
- ・ふれあいプラザ（委託）
- ・広島市森林公園（委託）
- ・マツダエース（委託）
- ・R.Door バランス院（靴底試作・カット・研磨）

【新委託先・取引業者】

- ・佐伯運動公園（委託）
- ・一場木工所⇒ドミノ製作など

◎令和4年度参加イベント

- ・僕らのアトリエ in アステール（R4.1）

令和4年度印刷科事業報告 担当：木村主任・土井支援員

(作業について)

・令和4年度の実質工賃支払い額(B型のみ)は、前年度比75,423円のプラス。令和4年度目標に対しては73,902円のプラスとなった。

・令和4年度(B型+生活介護)は、令和3年度と比較して売上は10%減。令和2年度と比較すると2%増の結果となっている。

問題として、原材料高騰により仕入れ価格が上がっており、外注ものはその分販売価格も上げているが、中には利益を圧迫しているものもある。名刺は料金を上げていないが、名刺用紙の原材料は上がっているため、利益は下がっている。そのため年間で見ると工賃に支給する金額が減っていると推測する。ただ、数年ごとの受注のものもあれば、年度をまたいで受注の場合もあったりするので、単年のみでは利益が下がったかどうかは判断出来ない。

令和2年仕入額602万(税別) 売上1068万円(税込) 単純差額利益466万円

令和3年仕入額756万(税別) 売上1192万円(税込) 単純差額利益436万円

令和4年仕入額717万(税別) 売上1082万円(税込) 単純差額利益345万円

・印刷科以外の仕事は、ブックオフと東光の箱折を統合科よりいただいている。ブックオフは一人の方が請け負っているような状態のため、出欠次第で作業の進捗に影響している。

・中外テクノス様のすべての名刺の委託を受けたため、名刺の受注量が増えた。R4年10月からスタート。

・今後の印刷科のパソコンのネットワーク環境は所有しているイラストレーターのソフトがウィンドウズの新しいバージョンでも使用可能になったため、次は新しいパソコンを増やしていくことが可能になったので、スムーズに移行できるようにしていくことが必要となる。ただ、現段階で現在使用しているウィンドウズXP対応のプリンターが残っていたため、保守契約期間がR5年2月で終わるので、次のプリンターの購入はXP対応のものを検討していく。

(ご利用者の方について)

・ご利用者の日々の出来事をケースにこまめに残すことが出来ていないところがある。引き続き気をつけていく必要がある。

・支援の忘れがないように職員同士で確認して対応した。ミスはゼロではないので引き続き気をつけて確認をしていく。

令和4年度生活介護事業報告

生活介護 西本主任支援員

令和4年度目標

施設を利用される利用者のニーズに沿った個別支援計画に基づき、利用者の特性、能力などを勘案し、個々に合わせた日中活動を支援する。障害、加齢や特別な疾病により、自立した生活が困難になってきた利用者に対して、日中活動参加への意識づけや意欲を養成し、利用者が働く喜び生きる喜びなどを実感できるように支援する。

加齢によりADLの低下が著しく見られてきた。食事・入浴・排泄・更衣・移動等の日常生活上の介護及び日常生活の中での心身の機能訓練を行う事により機能低下を防ぎ、安心と尊厳のある生活を、利用者の有する能力に応じ可能な限り自立して営むことができるように支援・介護する事を目標とする。

1年間の出来事

- ・コロナウイルス感染対策を継続
- ・施設行事の集団行事を調整
(夏祭り・カキ氷・誕生日会・ぜんざい会・クリスマスプレゼント会)
- ・食事内容の調整(食事形態・食器類・自助皿・自助食器・ストロー付きマグなどの導入)
- ・しまもと医院往診継続
- ・各自居室での転倒(原因:立位のバランスが崩れる、めまい、体幹の機能低下など)
- ・ADLの低下により座位が取れない事により業者へ相談の上で車椅子の調整
- ・知的障害の利用者へわかりやすい説明(自閉症への配慮・日課、ルールの説明等)
- ・排泄グッズの検討/サイズの検討
- ・避難訓練
- ・コロナ感染予防の為、外出、外泊の調整(同行支援中止・代行実施)
- ・体調不良(発熱・腹痛)/筋力低下/ADL低下/失禁/水分促しなど
→日々の小さな変化を職員で共有し、早期対応を行う。(支援再検討)
- ・感染症対策 秋～冬(加湿器・保温・室温調整)/うがい、手洗い、除菌の徹底
- ・長期入院されていた利用者の退院後の生活スタイルについて会議実施(電動ベッド導入)

評価

●コロナウイルスが流行し早3年が経過した。例年通りほぼ利用者全員ワクチン接種を実施し、除菌、感染対策にはより細やかな配慮を行い過ごした。

今年2023年1月には施設内で新型肺炎コロナウイルス陽性者が出た為、緊迫した空気の中、重度障害者の方に感染しないように最善の注意を払った。日々の観察、予防支援を実施した事で生活介護からは感染者は出ていない。

●コロナ警戒時期と同時に、清拭、更衣は実施してきたが中に尿路感染症も発症された利用者が出た為、入浴ができない時は陰洗もこまめに実施が必要であった。

●生活介護の利用者の方は重複障害がある方が多く、毎年コロナの生活制限などに理解が出来ない方が多かったが、年々今ある生活のリズムに慣れてこられたようにも感じる。理解はできないが「マスクをつけ、手を洗う、消毒する。」ことなどが習慣化されているように感じた。

●“豊かな生活が過ごせるように調整”のサービス提供を掲げてきたが、重症化のリスクのある生活介護の利用者は特に外出については注意を払った。基礎疾患がある利用者、免疫力の低い方は外出を中止し代行支援を引き続き行った。その代わりに、コロナに配慮した施設内行事を行う事で利用者も楽しそうに参加されていた。また、特に食事に関するイベントは食事制限がある方が多いので、各自利用者の食形態に合わせ精神的配慮を行いながら提供を行った。食が一番の楽しみになっている今、「ペースト食、刻み食、カット食、とろみ」など個別対応を実施して頂いているが、なかなか思う様にいかない部分もあり、食欲を低下させないように口からしっかり食べることを声掛けしつつ、多職種間連携しながら進める事ができた。次年度は、厨房委託業者が「ラフ」から「糧配」へ変更する。“含浸調理”を目玉に利用者の食事形態の向上と食べる楽しみを与えられるように調整と日々の変化を見落とさず確認を行っていく。

●年齢を重ねADLの低下による日々の変化が目まぐるしく、障害の進行も早くなる方も出てきた。「居室環境は適しているか、快適に生活できているか。」等日々の変化に早期発見し職員で情報を共有でき、今現在のADLの維持を目標に支援提供することもできた。

●“他職種間連携のチームケアの実践”保健、給食、介護、職業支援ともより良いサービスを提供出来るように常に情報を共有し支援検討を行った。介護技術の基本の徹底、向上を目指した。わからない事を分からないままにしない様に、ミスが起きた時は原因を追究し対策を立て、職員の意識を向上できるように常に報連相を行いながら介護に携わる事が出来た。

4年度 保健室事業報告 担当：谷所主任看護師・石野看護師

1、利用者の健康状態をデータ入力し情報を整理する

平成30年から行っている入所利用者の医療情報の整理を継続することを継続して行った。主に入院時の病棟提出用を使用した。入所後の経過を含めた既往歴等の基礎情報は緊急時にも必要なので来年度も継続して行うことにする。

2、健康管理

① 健康診断

春と秋の2回実施した。異常の早期発見に努めたが、健康診断をきっかけに疾患が見つかり治療を始めた利用者はいなかった。次年度も同じ時期に実施する予定。

職員の健康診断は総合健診センターへの委託を継続して行う。

② 歯科検診 訪問歯科(デンタルサポート)診療の継続

訪問歯科(デンタルサポート)を継続して利用させて頂いた。入所利用者の一人を除いて全員が治療してもらうようになった。次年度も継続して利用する予定。

歯科検診は訪問歯科(デンタルサポート)に依頼し、全体の検診とブラッシング指導を実施していただいた。入所利用者は定期的に診察する形ができたので、対象は通所利用者を中心になっている。結果については保護者に報告し、日常のケアにつなげて頂けるようにした。

③ 体重管理

1年間の体重の変動を見て、体重が5kg以上増加している利用者を把握するようにした。肥満により疾患の悪化や機能低下が見られる利用者を「ダイエット組」として管理した。管理した利用者は体重の増加は無く維持、又は減量することができた。

ダイエット組は体重の意識を持ってもらうため目標値を設定し、2週間ごとに測定を継続し、ヘルシー委員会で増減報告、対応の検討を行った。必要時、吉村栄養士と共に栄養指導を行った。生活介護利用者については西本主任とも連携を取っていき間食の管理を行った。

④ 受診付き添い

受診管理表を使用しながら、件数をこなせるよう管理した。しまもと先生の往診を今年度も継続して頂いたので受診件数をこなすことができた。1日2～3件の受診付き添い支援が平均してある。受診付き添いは時間も取られ付き添い者の身体的疲労がかなりある。利用者を車に乗せて運転し移動する緊張があり、かなりの重労働になっている。施設内業務も増加しており、一人が受診付き添いで不在となると施設内業務も停滞する。施設内の業務も平行して行けるようにスケジュールを組む工夫が次年度も必要。

⑤ 処置

定期浣腸が4名に増加。便秘がちで不定期だが浣腸処置を必要とする利用者が2名増えた。留置カテーテル利用者も4名に増え排泄処理も増加。オムツ使用利用者の増加により

尿路感染者の件数も増加が目立つようになった。感染予防対策として陰部洗浄を実施していくことが多くなった。他の処置を含めて処置量が増加している。
受診時間調整・巡回の省略など時間確保の工夫が必要。

⑥ 薬の管理

マニュアルを遵守し、誤薬の事故予防に努めた。誤嚥の事故はおきなかった。
嚥下障害がある利用者は、医師の指導に従い服薬の形も変更していくようにしている。現在、粉碎が必要な利用者は1名だけで増加はしていない。
機能低下、認知機能低下が出現した時は服薬管理の形も検討し保健室管理に変更した。その結果、2名の利用者が自己管理困難となり保健室管理に変更した。

⑦ 往診サービス

令和2年から始まった島本先生の往診を含め、現行を継続した。
森泌尿器科の井上先生が往診可能との事。次年度の検討とする。
精神科：東方田先生／脳外科：富原先生／歯科：城井先生
内科：しまもと先生

⑧ リハビリ

田島医院のリハビリが再開したら再検討を行う予定だったが、再開は無かった。
機能低下予防の為、2名の利用者の施設内リハビリを継続して行った。

⑨ 高齢化による身体状況の低下が見られる利用者に対して、今までできていた事ができなくなった事は無いか観察し支援の見直しを考える意識を常に持つようにして対応をした。次年度も利用者の現状に応じた支援が常に提供できるように、職員間で連携をとりサービス提供の向上に努めるようにしたい。

3、感染症予防対策

今年度もインフルエンザワクチンの予防接種の実施をした。感染症の知識を職員・利用者が持てるように伝達を行った。インフルエンザ感染者の発生無し。感染性胃腸炎の発生1名。
マニュアルは簡素で実施可能な内容であることが必要であることを実感した。
マニュアルがあっても、対象の利用者の理解度・身体状況によって修正・変更が必要でありマニュアルがあるからすぐにそれが使えるとはならなかった。発生時に迅速に隔離を行い、職員間で統一した対応ができるためには実施可能な内容のマニュアルが必要。経験したことを生かして見直しと修正を行う。

4、新型コロナウイルス感染予防対策

令和5年1月～2月にかけて、4名の感染者が発生した。
隔離対応を行ったが、終息するのに1ヶ月を必要とした。感染症が起きる事で日常生活に支障をきたし、感染していない利用者にも大きな影響があった。職員業務も負担が増し、また、運営にも大きな影響が出た。感染発生は多方面に異常をきたした。発生させないことが一番大事であることを痛感した。そして発生したら拡大させない事を優先に、1日でも早く普通の日常

を取り戻す努力が必要だと感じた。

次年度も引き続き、コロナ感染予防対策を継続して行っていく。

4、その他

① 送迎業務の分担について

受診付き添いの必要が無い送迎は、生活支援員の協力を得ながら実施していく。

② 物品管理・衛生資材管理

感染症の流行や災害時に備え、トイレットペーパー・ペーパータオル・養生テープ・マスク・手袋・アルコール液の定数を設定し備蓄をしておくようにした。物品不足で困ることはなかった。

コロナの流行により、アルコール液・プラスチックグローブの入手が一時困難になっていた。コロナ流行も3年目に入り、物品不足は解消しつつある。しかし、物価上昇で日常必需品が高騰した。無駄な使用をしないように考えて使用することを職員全体に周知し節約に努める事を続けたい。

③ 散髪支援・爪切り支援

次年度も現行を継続する。

④ リネン管理

次年度も現行を継続し、不足のないように発注していく。

令和4年度給食事業報告 担当：吉村栄養士

4年度は委託業者の見直しが一番重要な課題であった。食事内容も含め、食種別で特にソフト・ムース食の検討が必要であった。常食の提供状況、特に汁物の提供【温度・味・調製方法の変化】においては苦言を言っても改善されることはなく、原因追及をしない体質がみられ業者交代を5月には決め、6月から数社との面談等に着手した。

特にソフト食【あら刻みを固めた物・歯茎で容易につぶせる物】を重点課題として検討。

現行のラフはこのレベルの物がなく、その下のムース食に統合しないといけなかった。調製も加水量が多く味(素材の味や調味の味)が薄く、利用者の中には見た目や味の面から手をつけない方も出てきている状況。改善策としてソフト食(やわらか食)を導入し、それを扱っていることが業者選定の争点となった。

3年前、業者へのヒアリング不足があり今回は時間をかけ3社と比較検討を行った。

7月と8月に職員対象に試食会を行った。最終的に凍結含浸法を用いた「やわらか食」を自社で製造している株式会社糧配に決定した。数年前ラフと競合した業者である。当時から含浸については興味深いものがあり、待望の食材を導入できることになり先々に希望を見出すことができた。常食においても現地調理で献立も直営時代のメニューに近く、味もしっかりしていてかなり期待がもてる感触を得た。

実際業者交代には、8月打診し交代時期を決めることに。ラフの撤退が最終5年3月末という予定が1月末に繰り上がった為、2月切り替え時に準備時間がなくバタバタと切り替え日を迎えた。5日間は弁当等で提供し、2月6日より糧配の業務開始となった。

時期的に人員採用ができていなかったが、本部栄養士他スタッフのフル動員のバックアップ体制があることは安心材料である。ラフから主軸メンバーが移行できなかったため、業務内容の引継ぎや周知に、直接時間を割かなければならなかった。1か月間ほぼ現場での指導と周知・確認を行った。その後は指示書や伝達等でカバーするように修正。

味や内容については、利用者からは「おいしくなった。」と好評な声が多くあり満足されているようである。ムース食も以前の業者よりは味があり、高評価である。

2月交代時にスチームコンベクションの基盤の故障が判明、使用不可能になってしまった。メニュー変更や糧配の工場での調製搬入し、リヒートでの再加熱でしのいだ。リヒートはここ数年保温運転のみで使用していたが、このトラブルで朝食メニューの再加熱を導入できた。基盤自体かなり前から悪かったようで、報告がなく発見が遅くなってしまった。厨房立ち入りを快く思わなかった前業者であるが、切り替えを機に厨房内の立ち入り機会が多くなった。事前に異常なども含め点検をしていくことが必要である。スチームコンベクションについては年度末に入れ替え工事を行った。スチコンが使用できないため、含浸のソフト食をすぐに導入できなかったが、4月から導入開始となった。

人員が充足していない現状はまだまだ改善されておらず、時間がかかると思われる。特に核となる栄養士か調理リーダーがいないことは、特調がある業務上の特性から不安が残った。3月末に常駐の現場栄養士が採用になり、時間がかかるが安定はしていくと思われる。

行事については、4月に昼食時花見弁当を提供。誕生日会は昨年と同様にお茶会として実施。2月予定のお茶会はコロナ感染者があり、3月昼食にデザートサービスとして実施。

クリスマス会は、プレゼント会と昼食会で実施。今年度はプレゼント予算を多く準備できたので、目玉商品の抽選会と希望商品で渡すことができた。非常に好評であった。

利用者の高齢と共に喫食状況・身体状況の変化により、食事形態の変更・食器・自助具の変更個別対応が多かった。食事介助が全介助・一部介助の利用者さんが出てきている。

今後含浸食の導入と共に食種変更の必要な人も増えてくるため、それぞれにあった形態に切り替えることが増えると予測される。次年度も継続して取り組んでいく必要がある。

食材費(給食費予算)については、月間140万から150万以内で推移。今回業者切り替えにより食単価が上がるため、月間160万くらいになると予測される。業務委託費との合計で調整がついている。糧配は消耗品も一部持たれる為、年間消耗品金額が次年度減っていく。

厨房内の備品については、洗浄機と冷凍庫・給茶機の入れを検討する予定であったが5年度以降とし、冷蔵庫の入れ替えを検討していた。スチコン入れ替えを行った為、5年・6年の事業にずらすこととした。

今年度業者交代により内容や質の向上と、安心・安全・美味しい食事の提供を基本に再度業務の構築を行う必要がある。委託先と共通認識をもち双方の協力ももと内容の充実をはかるよう次年度も取り組んでいきたい。感染症の利用者がでて非常時の提供・消毒や備品取り扱い・備品の確認など、実践での確認ができたことは大きかった。感染者がでないにこしたことはない。準備物やオペレーションは確認を定期的に行っておかないといけないと痛感した。ここ1、2年振り返りをしていなかった。

次年度はコロナが5類に引き下がっても対応等は当面変わらないと予測される。今年度の反省も踏

まえ利用者の変化にも迅速に対応し、各部署との連携を密にとり業務にあたっていく。今年度の課題は次年度に持ち越して取り組み、特に含浸の完成度を上げ業務内容も含め改善していくことが必要と感じている。

【セルフ宇品各委員会】

- | | |
|---|--------|
| 1. 運営委員会（施設長・事務長・主任支援員・生活支援員）
・主に法人、施設の運営に関すること | 毎月1回開催 |
| 2. 作業支援委員会（主任支援員・各職業支援員）
・各作業に関すること。利用者対応に関すること。 | 毎月1回開催 |
| 3. 生活介護保健委員会（生活介護主任・主任看護師・看護師）
・生活介護部門の利用者に関する、生活や保健に関すること | 毎月1回開催 |
| 4. ヘルシー委員会（栄養士・看護師・生活支援員）
・主に食事に関すること。体重管理に関すること。 | 毎月1回開催 |
| 5. 防犯防災委員会（7名の選抜メンバー）
・防犯、防災に関すること。施設整備に関すること。 | 毎月1回開催 |
| 6. 虐待防止委員会・ハラスメント防止委員会（全職員）
・虐待防止、差別禁止・ハラスメントに関すること。 | 年1回実施 |

これら各委員会の報告を主にした職員会議を毎月1回行っている。

【その他会議】

個別支援計画策定会議（関係職員） 随時

ケース会議（関係職員） 随時

緊急性のあることについては、毎朝のミーティング時に話し合いを持っている。

【障害者支援施設セルプ宇品主な行事】

月 日	内 容	場所等	参加者等
4月13日14日 20日21日	春の健康診断・検尿	施設内	利用者
6月16日	お茶会	食堂	利用者
6月23日	南区地域部会	南区役所別館	木村
6月24日	宇品東連合町内会防潮堤開閉テスト立会	宇品波止場公園他	小谷
6月25日	ベイシティグリーンロード	中広宇品線歩道	宇品東連合町内会・職員
6月26日	町内会防犯パトロール	宇品東1～6丁目	小谷
7月9日	町内会防犯パトロール	宇品東1～6丁目	小谷
7月17日	町内会防犯パトロール	宇品東1～6丁目	小谷
8月9日	BGR 話合い	会議室	連合町内会役員・小谷木村
8月12日	土曜日（かき氷）	施設内	利用者・職員
8月12日	害虫駆除	1階部分	職員
8月18日	害虫駆除	居室・倉庫	職員
8月21日	町内会防犯パトロール	宇品東1～6丁目	小谷
8月22日	害虫駆除	厨房	職員
9月1日	さっそくネットシュミレーション訓練	事務所	小谷
9月7日8日	秋の健康診断	施設内	利用者
9月15日	お茶会	食堂	利用者
10月1日	ベイシティグリーンロード	中広宇品線歩道	宇品東連合町内会・職員
10月3日	市特別支援学校保護者・教員見学	施設内	職員
10月16日	町内会防犯パトロール	宇品東1～6丁目	小谷
10月31日	町内会役員会	会議室	小谷
11月13日	町内会防犯パトロール	宇品東1～6丁目	小谷
11月27日	南区防災訓練	宇品東小学校	小谷
12月20日	避難訓練	施設内	利用者・職員
12月22日	Xmas プレゼント会	食堂	利用者
12月23日	Xmas 昼食会	食堂	利用者
12月28日	お楽しみ昼食会	食堂	利用者
5年1月1日	おせち料理	食堂	利用者
1月2日	正月祝膳	食堂	利用者
1月20日	アステールプラザ木工販売	アステールプラザ	正木
2月6日～ 21日	学生実習（1名）	広島国際医療福祉専門学校	各科
2月25日	ベイシティグリーンロード	中広宇品線歩道	宇品東連合町内会・職員
3月3日	町内会役員会	会議室	小谷
3月15日	避難訓練	施設内	利用者・職員

令和4年度障害者支援施設セल्प宇品各月初日在籍者人数

令和4年4月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	8	3	11	入所	35	11	46
通所	15	3	18	通所	2	0	2	通所	17	3	20
合計	42	11	53	合計	10	3	13	合計	52	14	66

5月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	8	3	11	入所	35	11	46
通所	15	3	18	通所	2	0	2	通所	17	3	20
合計	42	11	53	合計	10	3	13	合計	52	14	66

6月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	8	3	11	入所	35	11	46
通所	15	3	18	通所	2	0	2	通所	17	3	20
合計	42	11	53	合計	10	3	13	合計	52	14	66

7月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	8	3	11	入所	35	11	46
通所	15	3	18	通所	2	0	2	通所	17	3	20
合計	42	11	53	合計	10	3	13	合計	52	14	66

8月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	8	3	11	入所	35	11	46
通所	15	3	18	通所	2	0	2	通所	17	3	20
合計	42	11	53	合計	10	3	13	合計	52	14	66

9月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	8	3	11	入所	35	11	46
通所	15	3	18	通所	2	0	2	通所	17	3	20
合計	42	11	53	合計	10	3	13	合計	52	14	66

10月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	9	3	12	入所	36	11	47
通所	15	3	18	通所	1	0	1	通所	16	3	19
合計	42	11	53	合計	10	3	13	合計	52	14	66

11月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	9	3	12	入所	36	11	47
通所	15	3	18	通所	1	0	1	通所	16	3	19
合計	42	11	53	合計	10	3	13	合計	52	14	66

12月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	9	3	12	入所	36	11	47
通所	15	3	18	通所	1	0	1	通所	16	3	19
合計	42	11	53	合計	10	3	13	合計	52	14	66

令和4年1月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	9	3	12	入所	36	11	47
通所	15	3	18	通所	1	0	1	通所	16	3	19
合計	42	11	53	合計	10	3	13	合計	52	14	66

2月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	9	3	12	入所	36	11	47
通所	15	2	17	通所	1	0	1	通所	16	2	18
合計	42	10	52	合計	10	3	13	合計	52	13	65

3月1日

就労継続支援B型 定員 57名				生活介護 定員 13名				定員合計 70名			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計		男性	女性	合計
入所	27	8	35	入所	9	3	12	入所	36	11	47
通所	15	2	17	通所	1	0	1	通所	16	2	18
合計	42	10	52	合計	10	3	13	合計	52	13	65

令和4年度監事監査報告

監査報告書

令和4年5月27日

社会福祉法人広島県肢体障害者連合会

会長 小田 龍雄様

監事

添田 龍彦 

監事

下津江 博 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

監 査 報 告 書

令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の社会福祉法人広島県肢体障害者連合会

の監査の結果、当該法人の資産総額は 582,728,217 円であることを認めます。

令和 4 年 5 月 27 日

監 事 赤田龍彦 

監 事 下津江博 

社会福祉法人広島県肢体障害者連合会

会 長 小 田 龍 雄 様